

第9期介護保険事業計画における大牟田市の地域密着型サービス整備計画について

福祉課

1. 地域密着型サービスの基盤整備の進捗状況について

大牟田市では、高齢者が要介護状態になっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるように、日常生活圏域（小学校区）ごとにサービスの基盤整備を行ってきました。平成18年度からは地域住民の集まり場・茶飲み場等として地域の高齢者等が元気で生き生きとした生活が送れるよう、地域密着型サービス事業所に介護予防拠点・地域交流施設の併設を推進し、地域づくりを通して、その人らしい暮らしの実現を目指しているところです。

■地域密着型サービス等の整備状況一覧（令和7年8月1日現在）

生活圏域 (小学校区)	地域包括 支援 センター	小規模 多機能型 居宅介護	看護小規模 多機能型 居宅介護	認知症対応 型通所介護	認知症対応 型共同生活 介護	地域密着型 特定施設	地域密着型 介護老人 福祉施設	定期巡回・ 随時対応型 訪問介護看護	介護予防拠点 ・地域交流施設 等
大牟田中央	中央	2			1(18)				4
大正		1							1
平原		1							3
白川		1			1(18)			1	1
中友					1(9)				
手鎌	手鎌	1			1(12)				3
明治				1	2(27)	1(20)		1	3
吉野	吉野	1			1(12)		1(20)		2
上内		1					1(18)		1
倉永		2		1	2(18)	1(9)			4
三池	三池				1(18)				1
銀水		2	1	1	1(9)				5
羽山台									
高取		1				1(20)			3
みなと	三川	2		1	1(9)	1(18)			4
天領		1			1(12)	1(18)			2
駿馬	駿馬 ・ 勝立	2		1	2(45)				4
天の原		1		1	1(18)				1
玉川		2			1(9)				2
合計	6	21	1	6	17 (234)	5(85)	2(38)	2	44

()内は利用定員数

（参考）大牟田市における既存介護サービス基盤の整備状況（地域密着型以外） ※令和7年8月1日現在

	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護医療院		特定施設	
	設置数	定員	設置数	定員	設置数	定員	設置数	定員
計	10	558	8	582	5	200	7	188

2. 第9期(令和6～8年度)介護保険事業計画での施設整備方針

本市では、できる限り住み慣れた地域で在宅生活が継続できるように、地域密着型サービスを中心に介護サービスの基盤整備を推進しています。

その中で、今後も増加していく高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯、認知症高齢者等を地域や在宅で支える地域包括ケアシステムの深化・推進においても、地域密着型サービスの果たす役割は大きいと考えられます。

今期は、「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」の整備及び日常生活圏域である全ての小学校区への整備に取り組んできた「小規模多機能型居宅介護」の未整備校区への整備を行います。

また、医療ニーズの高い要介護者に対応するための「看護小規模多機能型居宅介護」、さらに、日中・夜間を通じて訪問介護及び訪問看護を提供する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の整備を進めていきます。

【第9期介護保険事業計画における地域密着型サービスの整備目標】

施設種別	整備量（決定年度）			
	令和6年度		令和7年度	令和8年度
小規模多機能型居宅介護 ※サテライト型でも可	計画	2事業所	2事業所	
	実績	選定なし		
看護小規模多機能型居宅介護	計画	1事業所	1事業所	
	実績	応募なし		
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	計画	1事業所(18人)	1事業所 (9人)	
	実績	1事業所(9人)		
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	計画	1事業所		
	実績	1事業所		

(備考)

- 看護小規模多機能型居宅介護事業所とは、小規模多機能型居宅介護サービスと訪問看護サービスを組み合わせ一体的に提供することにより、医療ニーズが高い要介護者の在宅生活を支えることを目的として平成24年度に新設されたサービスです。
- サテライト型小規模多機能型居宅介護とは、既存の小規模多機能型居宅介護事業所を本体事業所として、本体事業所から自動車等で概ね20分未満の近距離にある登録定員18名(通い12名・宿泊6名)以下の小規模多機能型居宅介護事業所です。本体事業所と連携を図ることにより、人員基準が緩和されています。